

参考文献

- 青柳憲昌．2010．関野克の登呂遺跡住居復原案の形成過程と「復元」の基本方針．日本建築学会計画系論文集 75(654): 2073-20-80.
- 赤坂憲雄．2007．岡本太郎の見た日本．岩波書店．
- 赤塚次郎．1992．東海系のトレース：3・4世紀の伊勢湾沿岸地域．古代文化 44(6): 35-49.
- . 1996．前方後方墳の定着：東海系文化の波及と葛藤．考古学研究 43(2): 20-35.
- . 2009．幻の王国・狗奴国を旅する：卑弥呼に抗った謎の国へ．名古屋：風媒社．
- 浅川滋男 編．1998．先史日本の住居とその周辺．東京：同成社．
- アートル，ジョン．2016．考古学の現在を掘る．民博通信 152: 10-11.
- 穴沢和光．1997．梅原未治論．考古学京都学派＜増補＞．角田文衛 編．218-299．東京：雄山閣．
- アンダーソン，ベネディクト．加藤 剛 訳．2009．ヤシガラ碗の外へ．東京：NTT 出版．
- . 白石 隆・白石あや訳．2007．定本 想像の共同体：ナショナルイズムの起源と流行．東京：書籍工房早川．
- 井上章一．2009．池上曾根の光と影．伊勢神宮—魅惑の日本建築．井上章一 著．444-518．東京：講談社．
- 今村啓爾．2014．世界史における縄文文化の位置づけ．縄文時代（下）：講座日本の考古学 4．今村啓爾・泉拓良 編．652-669．東京：青木書店．
- 今村啓爾・松村恵司．1971．横浜市日吉中駒遺跡の中期縄文式土器（資料紹介）．考古学雑誌 57(2): 81-93.
- 岩崎夏海．2009．もし高校野球のマネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら．東京：ダイヤモンド社．
- 上山春平 編．1969．照葉樹林文化：日本文化の深層．東京：中公新書．
- ウェーバー，マックス．富永祐治・立野保男 訳．折原 浩 補訳．1998．社会科学と社会政策に関わる認識の「客観性」．東京：岩波文庫．
- ウォータース，アリス・NHK エンタープライズ取材班．2013．アリスのおいしい革命．東京：文藝春秋．
- 梅棹忠夫．1967．文明の生態史観．東京：中央公論叢書．
- 梅棹忠夫 編．2001．文明の生態史観はいま．東京：中央公論叢書．
- 梅原 猛・渡辺 誠．1989．縄文の神秘：人間の美術．東京：学習研究社．
- 大塚達朗．1987．泉福寺洞穴出土隆起線紋土器群の理解の視座：「豆粒文土器」の編年的位置を問う．日本考古学協会 第 53 回（昭和 62 年度）総会 研究発表要旨．日本考古学協会 編．20-23．東京：日本考古学協会．
- . 1995．榎原式紋様論．東京大学文学部考古学研究室紀要 13: 79-141.
- . 2000．縄紋土器研究の新展開．東京：同成社．
- . 2010．短期編年の縄文文化．縄文時代 21: 1-24.
- . 2011．日本先史考古学における編年研究の様相．南山大学人類学博物館紀要 29: 1-25.
- . 2012a．弥生土器様式論．考古学研究 59(2): 43-55.

- . 2012b. 福井洞穴の長脚鎌. 縄文時代 23: 97-118.
- . 2014. 隆起線紋土器における広域連動: 花見山式の再設定及び三角山式の設定より. 物質文化 94: 1-28.
- . 2015. 解題. 縄文時代後・晩期土器編年の研究: 加曾利B式～安行式土器群の変遷. 新屋雅明 著. 257-268. 東京: 六一書房.
- . 2016. 消費される縄紋文化. 物質文化 96: 89-110.
- 岡田康博・小山修三 編. 1996. 縄文鼎談: 三内丸山の世界. 東京: 山川出版社.
- 岡村勝行. 2016. WAC-8: どのような大会であったのか. 考古学研究 63(3): 1-3.
- 岡村道雄. 2008. 日本各地・各時代の焼失竪穴建物. 奈良: 奈良文化財研究所.
- 岡本太郎. 1952. 四次元との対話: 縄文土器論. みず系 558: 3-18.
- . 1956. 日本の伝統. 東京: 光文社.
- . 1958. 日本再発見: 芸術風土記. 東京: 新潮社.
- . 1961. 忘れられた日本: 沖縄文化論. 東京: 中央公論新社.
- . 1964. 神秘日本. 東京: 中央公論新社.
- 岡安光彦. 2015. 原始和弓の起源. 日本考古学 39: 31-52.
- 小熊英二. 1995. 単一民族神話の起源: 日本人の自画像の系譜. 東京: 新曜社.
- 小熊英二・上野陽子. 2003. <癒し>のナショナリズム: 草の根保守運動の実証研究. 東京: 慶應大学出版会.
- 尾関清子. 1996. 縄文の布: 日本最古の布を復元. 東京: 学生社.
- . 1997. 女のオシャレ: 縄文時代における“編み”と“織り”. 縄文時代の装身具: 日本の美術 369. 土肥孝 編. 86-98. 東京: 至文堂.
- . 2012. 縄文の布: 日本列島布文化の起源と特質. 東京: 雄山閣.
- 萱野稔人. 2011. ナショナリズムは悪なのか. 東京: NHK 出版新書.
- 川畑秀明・松本直子. 2007. 土偶の顔における表情および印象評価の測定: 感性考古学的アプローチ. 電子情報通信学会技術研究報告 HIP ヒューマン情報処理 107(369): 79-84.
- 木曾 功. 2015. 世界遺産ビジネス. 東京: 小学館新書.
- 岐阜県南濃町教育委員会. 2000. 岐阜県南濃町羽沢貝塚発掘調査報告書. 南濃町文化財調査報告書 第6冊.
- クニール, ゲオルク・ナセヒ, アルミン. 1995. ルーマン社会システム理論: 「知」の扉を開く. 東京: 新泉社.
- 栗田 勇 監修. 1971. 現代日本建築家全集 4: 堀口捨己. 東京: 三一書房.
- クリフォード, ジェームズ. 太田好信・他 訳. 2003. 文化の窮状: 二十世紀の民族誌、文学、芸術. 京都: 人文書院.
- クリフォード, ジェームズ・マークス, ジョージ. 編. 春日直樹他 訳. 1996. 文化を書く. 東京: 紀伊国屋書店.
- ケイナー, サイモン. 2016. 世界と繋がる日本考古学: WAC-8 に思うこと. 考古学研究 63(3): 3-5.
- 国立科学博物館・他 編. 2005. 特別展「縄文 vs 弥生」. 東京: 読売新聞東京本社.
- 小杉 康. 2002. 神像が回帰する社会: 前期末葉以降の本州北東域. 縄文社会論 (上). 安斎正人 編. 131-180. 東京: 同成社.

- 小林達雄．2010. 縄文の世界．世界遺産 縄文遺跡．小林達雄 編．1-34. 東京：同成社．
- 小山修三．1984. 縄文時代：コンピュータ考古学による復元．東京：中公新書．
- ．1996. 縄文学への道．東京：NHK ブックス．
- ．1998. 縄文探検：民族考古学の試み．東京：中公文庫．
- 小山修三 編．1986. 縄文人の家族生活 (週刊朝日百科『日本の歴史』)．東京：朝日新聞社．
- 編．2003. 縄文人の家族生活 (第二版．週刊朝日百科『日本の歴史』)．東京：朝日新聞社．
- 小山修三・岡田康博．2000. 縄文時代の商人たち：日本列島と北東アジアを交易した人びと．東京：洋泉社新書．
- 近藤義郎．1964. 戦後日本考古学の反省と課題．日本考古学の諸問題：考古学研究会十周年記念論文集．同刊行会 編．311-338. 岡山：考古学研究会．
- 坂詰秀一．1997. 太平洋戦争と考古学．東京：吉川弘文館．
- 坂野 徹．2012. 九学会連合の共同調査と「国土」．産業経営プロジェクト報告書 35: 1-15.
- 坂本龍一・中沢新一．2010. 縄文聖地巡礼．東京：木楽舎．
- 佐々木高明．1971. 稲作以前．東京：NHK ブックス．
- ．1991. 日本史誕生：日本の歴史 1. 東京：集英社．
- ．1993. 日本文化の基層を探る：ナラ林文化と照葉樹林文化．東京：NHK ブックス．
- 佐々木毅・金 泰 昌 編．2002a. 公共哲学 3: 日本における公と私．東京：東京大学出版会．
- ．2002b. 公共哲学 4: 欧米における公と私．東京：東京大学出版会．
- 佐々木守・さかいひろこ．1996a. 風のまほろば (上)：縄文冒険コミック．東京：日本放送出版協会．
- ．1996b. 風のまほろば (下)：縄文冒険コミック．東京：日本放送出版協会．
- 佐藤達夫．1974. 黎明期の日本．図説日本の歴史 1: 日本のあけぼの．三上次男編．69-84. 東京：集英社．
- 佐藤宏之・山田哲・出穂雅美．2011. 旧石器時代の狩猟と動物資源．野と原の環境史：シリーズ日本列島の三万五千年一人と自然の環境史 2. 佐藤宏之・飯沼賢司 編．51-71. 東京：文一総合出版．
- 佐原 眞．1972. 1971 年の動向：弥生時代 (下)．考古学ジャーナル 74: 3-13.
- ．1994. 遺跡が語る日本人の暮らし．東京：岩波ジュニア新書．
- 澤宮 優．2016. 「考古学エレジー」の唄が聞こえる：発掘にかけた青春哀歌．東京：東海教育研究所．
- 榎木野衣．2003. 黒い太陽と赤いカニ：岡本太郎の日本．東京：中央公論新社．
- 杉山真二．2010. 更新世の植生と環境．旧石器時代 (上)：講座日本の考古学 1. 稲田孝司・佐藤宏之 編．156-177. 東京：青木書店．
- 芹沢長介．1962. 土器の起源．自然 17(11)：29-35。
- 高田和徳．1997. 縄文遺跡の焼失家屋．考古学ジャーナル 415: 33-35.
- ．1998. 縄文土屋根住居の実験的復元．人類誌集報 1998: 131-139.
- ．2005. 縄文のイエとムラの風景・御所野遺跡：シリーズ「遺跡を学ぶ」015. 東京：新泉社．
- 高山 純．1969. 縄文人の入墨：古代の習俗を探る．東京：講談社．

- 茅野市教育委員会 編 . 2016. 特別史跡 尖石石器時代遺跡保存管理計画書 . 茅野 : 茅野市教育委員会 .
- 辻誠一郎 . 2014. 縄文時代の年代と陸域の生態系史 . 縄文時代 (上) : 講座日本の考古学 3. 今村啓爾・泉 拓良 編 . 61-81. 東京 : 青木書店 .
- 都出比呂志 . 1989. 日本農耕社会の成立過程 . 東京 : 岩波書店 .
- 角田文衛 編 . 1994. 考古学京都学派<増補> . 東京 : 雄山閣 .
- 坪井正五郎 . 1993. 日本全国に散在する古物遺跡を基礎としてコロボックル人種の風俗を追想す . 史学雑誌 4(40) : 1-16.
- . 1895a. コロボックル風俗考 (第1回) . 風俗画報 90 : 27-30.
- . 1895b. コロボックル風俗考 (第2回) . 風俗画報 91 : 30-32.
- . 1895c. コロボックル風俗考 (第3回) . 風俗画報 93 : 30-32.
- . 1895d. コロボックル風俗考 (第4回) . 風俗画報 95 : 32-35.
- . 1895e. コロボックル風俗考 (第5回) . 風俗画報 97 : 28-30.
- . 1895f. コロボックル風俗考 (第6回) . 風俗画報 99 : 30-34.
- . 1895g. コロボックル風俗考 (第7回) . 風俗画報 102 : 29-32.
- . 1895h. コロボックル風俗考 (第8回) . 風俗画報 104 : 30-33.
- . 1896a. コロボックル風俗考 (第9回) . 風俗画報 106 : 30-32.
- . 1896b. コロボックル風俗考 (第10回) . 風俗画報 108 : 29-31.
- 勅使河原彰 . 2004. 原始集落を掘る・尖石遺跡 : シリーズ「遺跡を学ぶ」004. 東京 : 新泉社 .
- 土肥 孝 . 2011. 千網谷戸型耳飾について . 考古学ジャーナル 613 : 32-35.
- 床呂郁哉・河合香吏 編 . 2011. ものの人類学 . 京都 : 京都大学学術出版会 .
- 戸田 穰 . 2015. 時間をどのように再現するのか . 現代の眼 614 : 4-5.
- 富井 眞 . 2013. 世界考古学会議第7回ヨルダン大会に参加して思うこと . 古代文化 65(2) : 112-119.
- 中尾佐助 . 1966. 栽培植物と農耕の起源 . 東京 : 岩波新書 .
- 中沢新一 . 2004. 僕の叔父さん 網野善彦 . 東京 : 集英社新書 .
- . 2005. アースダイバー . 東京 : 講談社 .
- 中西裕見子 . 2014. 考古学研究者の性差 . 考古学研究 60 の論点 . 考古学研究会 編 . 205-206. 岡山 : 考古学研究会 .
- 成瀬 洋 . 1977. 日本島の生いたち . 東京 : 同文書院 .
- 西尾幹二 . 1999. 国民の歴史 . 東京 : 扶桑社 .
- 日本考古学協会 50 周年記念出版特別委員会 . 1998. 日本考古学協会 50 年の歩み . 日本考古学 6 : 203-204.
- 日本第四紀学会・小野 昭・春成秀爾 編 . 1992. 図解・日本の人類遺跡 . 東京 : 東京大学出版会 .
- 服部夕紀 . 1988. 古代への旅 (イラスト日本の歴史) . 東京 : 誠文堂新光社 .
- 羽生淳子 . 1990. 縄文時代の集落研究と狩猟・採集民研究との接点 . 物質文化 53 : 1-14.
- . 1994. 狩猟・採集民の生業・集落と民族誌 : 生態学的アプローチに基づいた民族誌モデルを中心として . 考古学研究 41(1) : 73-93.
- . 2000a. 縄文人の定住度 (上) . 古代文化 52(2) : 29-37.
- . 2000b. 縄文人の定住度 (下) . 古代文化 52(4) : 30-41.

- . 2002. 三内丸山遺跡の「ライフ・ヒストリー」. 国立民族学博物館調査報告 33: 161-183.
- . 2015. 歴史生態学から見た長期的な文化変化と人為的生態システム: 縄文時代前・中期の事例から. 第四紀研究 54(5): 299-310.
- . 2016. 食の多様性と気候変動: 縄文時代前期・中期の事例から. 考古学研究 63(2): 38-50.
- 林 謙作・岡村道雄 編. 2000. 縄文遺跡の復原. 東京: 学生社.
- 春成秀爾. 2008. 野生動物の絶滅と人類. 野生と環境: ヒトと動物の関係学 4. 池谷和信・林 良博 編. 22-44. 東京: 岩波書店.
- 菱田淳子. 2014. 考古学研究者の性差. 考古学研究 60 の論点. 考古学研究会 編. 203-204. 岡山: 考古学研究会.
- 尾藤正英. 2000. 日本文化の歴史. 東京: 岩波新書.
- 平出遺跡調査会. 1955. 平出: 長野県宗賀村古代集落遺跡の総合研究. 東京: 朝日新聞社.
- 広瀬浩二郎 編著. 2012. さわって楽しむ博物館: ユニバーサル・ミュージアムの可能性. 東京: 青弓社.
- 藤森栄一. 1969. いつまで編年をやるのか. 考古学ジャーナル 35: 1.
- 文化庁 編. 1952. 吉胡貝塚. 埋蔵文化財発掘調査報告, 1. 東京: 吉川弘文館.
- 星 新一. 2004 [1974]. 祖父・小金井良精の記 (上)・(下). 東京: 河出文庫.
- 松田 陽. 2014. 古墳とパブリックアーケオロジー. 古墳と現代社会: 古墳時代の考古学 10. 一瀬和夫・他編. 144-161.
- 松田 陽・岡村勝行. 2012. 入門パブリック・アーケオロジー. 東京: 同成社.
- 松本直子. 2000. 認知考古学の理論と実践的研究: 縄文から弥生への社会・文化変化のプロセス. 福岡: 九州大学出版会.
- . 2004. 縄文イデオロギーの普遍性と特異性: 土偶の性格を中心に. 文化の多様性と 21 世紀の考古学. 考古学研究会 編. 150-165. 岡山: 考古学研究会.
- . 2005. 縄文のムラと社会. 先史日本を復元する, 2. 東京: 岩波書店.
- 三上次男・他. 1974. 図説日本の歴史 1: 日本のあけぼの. 東京: 集英社.
- 水林 彪. 2002. 日本的「公私」観念の原型と展開. 公共哲学 3: 日本における公と私. 佐々木毅・金泰昌 編. 1-19. 東京: 東京大学出版会.
- 水野正好. 1969. 縄文時代集落復元への基礎的操作. 古代文化 21(3・4): 1-21.
- 水ノ江和同. 2003. 朝鮮海峡を越えた縄文時代の交流の意義: 言葉と文化圏. 考古学に学ぶ (II): 同志社大学考古学シリーズⅧ 考古学研究室開設五十周年記念. 同シリーズ刊行会 編. 55-66. 京都: 同刊行会.
- . 2007. ふたたび、対馬海峡西水道を越えた縄文時代の交流の意義: 縄文文化と異文化との接触、言葉と文化圏. 考古学に学ぶ (III): 同志社大学考古学シリーズⅨ 森浩一先生傘寿記念献呈論集. 同シリーズ刊行会 編. 73-84. 京都: 同刊行会.
- 溝口孝司. 1998. 「意味」と「共感」の民族考古学: イアン・ホダー. 民族考古学序説. 民族考古学研究会 編. 55-76. 東京: 同成社.
- . 2015. 公共考古学の可能性. 過去を伝える、今を遺す: 歴史資料、文化遺産、情報資源は誰のものか (史学会 125 周年リレーシンポジウム 2014-4). 九州史学会・公益財団法人史学会 編. 170-194. 東京: 山川出版社.
- . 2016. 考古学理論の転換と史的背景に関する一試論: 欧米考古学を主要な素材と

- としての分析と提言・考古学研究 63(3): 85-104.
- 宮坂英弼・1957. 尖石・茅野: 茅野市教育委員会.
- 港 千尋・2012. 掌の縄文・東京: 羽鳥書店.
- 宮本一夫・2010. 縄文文化と東アジア・縄文時代の考古学 I: 縄文文化の輪郭 比較文化論による相対化・小杉 康・他 編・127-140. 東京: 同成社.
- 宮本常一・1979. 民具学の提唱・東京: 未来社.
- . 1984 [1960]. 忘れられた日本人・東京: 岩波文庫.
- 村野正景・2015. 文化遺産の継承そして創造へ: 参加型考古学を試みる. 過去を伝える、今を遺す: 歴史資料、文化遺産、情報資源は誰のものか(史学会 125 周年リレーシンポジウム 2014-4). 九州史学会・公益財団法人史学会 編・84-114. 東京: 山川出版社.
- モース, E.S. 近藤義郎・佐原 眞 訳・1983. 大森貝塚: 付 関連史料・東京: 岩波文庫.
- 山田康弘・2015. つくられた縄文時代: 日本文化の原像を探る・東京: 新潮社.
- 山内清男・1937. 縄紋土器型式の細別と大別. 先史考古学 1(1): 29-32.
- . 1964. 縄文式土器・総論. 縄文式土器: 日本原始美術 I. 148-158. 東京: 講談社.
- . 1969. 縄文文化の社会 縄文時代研究の現段階. 古代〈日本〉先史—5 世紀: 日本と世界の歴史 I. 田中豊 編, 86-97. 東京: 学習研究社.
- 山内清男・他・1936. 座談会 日本石器時代文化の源流と下限を語る. ミネルヴァ 1(1): 34-46.
- 山内清男・他・1971. 山内清男先生と語る. 北奥古代文化 3: 59-80.
- 山内先生没後 25 年記念論集刊行会・1996. 画竜点睛: 山内清男先生没後 25 年記念論集. 会津若松.
- 吉田憲司・1999. 文化の「発見」: 驚異の部屋からヴァーチャル・ミュージアムまで. 東京: 岩波書店.
- 吉田泰幸・2003. 縄文時代における土製栓状耳飾の研究. 名古屋大学博物館報告 19: 29-54.
- . 2004a. 土製栓状耳飾の地理的分布と通婚圏. 長野県考古学会誌 105: 34-50.
- . 2004b. 宮城県室浜貝塚出土資料の研究: 角田コレクション紹介 3. 名古屋大学博物館報告 20: 55-69.
- . 2005a. 図版解説 青森県榎林遺跡出土の榎林式復元土器: 角田コレクション紹介 I. 古代文化 57(3): 41-43.
- . 2005b. アメリカ式石鏃 5 点および関連資料 2 点: 角田コレクション紹介 2. 古代文化 57(11): 45-48.
- . 2006a. 玦状耳飾の装着方法. 日本考古学 22: 109-126.
- . 2006b. 秋田県角間崎貝塚出土の礫石錘: 角田コレクション紹介 6. 名古屋大学博物館報告 22: 1-10.
- . 2007a. 福島県矢細工遺跡の出土のスタレ状圧痕: 角田コレクション紹介 5. 古代文化 59(1): 150-152.
- . 2007b. 福島県大日平遺跡出土の縄文土器と土製腕輪: 角田コレクション紹介 7. 名古屋大学博物館報告 23: 21-26.
- . 2008a. 土製耳飾の装身原理. 縄文時代の考古学 10 人と社会: 人骨情報と社会組織. 小杉 康・他 編. 180-193. 東京: 同成社.

- . 2008b. 縄文時代における「土製腕輪」の研究. 古代文化 59(4): 23-41.
- . 2009. 土偶にみられる衣装表現に関する一試論. 古代文化 61(3): 20-39.
- . 2011. ベトナムにおける先史文化の考古学的研究とその資源化に関する研究. 金沢大学 文化資源学研究 1: 1-10.
- . 2012. 韓国先史文化と文化資源学. 金沢大学 文化資源学研究 4: 1-8.
- ラトゥール, ブルーノ. 川崎 勝・高田紀代志 訳. 1999. 科学がつくられているとき: 人類学的考察. 東京: 産業図書.
- 渡辺 仁. 1990. 縄文式階層化社会. 東京: 六興出版.
- . 2001. 縄文土偶と女神信仰. 東京: 同成社.
- 渡辺 誠. 1974. 食料資源. 考古学ジャーナル 100: 31-34.
- . 1975. 縄文時代の植物食. 東京: 雄山閣.
- . 1983. 縄文時代の知識. 東京: 東京美術.
- 渡辺 誠 編. 2000. 縄文時代研究の新動向. 季刊考古学 73. 東京: 雄山閣.
- 渡辺 誠・吉田泰幸. 2005. 宮城県里浜貝塚製塩土器の再発見: 角田コレクション紹介 4. 名古屋大学博物館報告 21: 1-8.
- Bailey, Douglass, Andrew Cochrane, and Jean Zambelli, eds. 2010. *UNEARTHED: A Comparative Study of Jomon Dogu and Neolithic Figurines*. Norwich: Sainsbury Institute for the Study of Japanese Arts and Cultures.
- Barnes, Gina. 1993. *China, Korea and Japan: The Rise of Civilization in East Asia*. New York: Thames and Hudson.
- Bellwood, Peter. 2004. *First Farmers: The Origin of Agricultural Societies*. Malden: Wiley-Blackwell.
- . 2013. *First Migrants: Ancient Migration in Global Perspective*. Malden: Wiley-Blackwell.
- Berggren, Åsa and Ian Hodder. 2003. Social Practice, Method, and Some Problems of Field Archaeology. *American Antiquity* 68(3): 421-434.
- Bijker, Wiebe. 1995. *Of Bicycles, Bakelites, and Bulbs: Toward a Theory of Sociotechnical Change*. Cambridge: The MIT Press.
- Bowker, Geoffrey. 2000. Biodiversity Datadiversity. *Social Studies of Science* 30: 643-683.
- Bruner, Edward M. 1994. Abraham Lincoln as Authentic Reproduction: A Critique of Post-modernism. *American Anthropologist* 96(2): 397-415.
- Callon, Michel. 2004. The Role of Hybrid Communities and Socio-technical Arrangements in the Participatory Design. *Journal of the Center for Information Studies* 5: 3-10.
- Castañeda, Quetzil and Christopher N. Matthews, eds. 2008. *Ethnographic Archaeologies: Reflections on Stakeholders and Archaeological Practices*. Lanham: AltaMira Press.
- Clifford, James. 1988. *The Predicament of Culture: Twentieth-Century Ethnography, Literature, and Art*. Cambridge: Harvard University Press.
- Clifford, James and George E. Marcus. 1986. *Writing Culture: The Poetics and Politics of Ethnography*. Berkeley: University California Press.
- Conkey, Meg and Janet Spector. 1984. Archaeology and the Study of Gender. *Advances in Archaeological Method and Theory* 7: 1-38.
- Crema, Enrico R., Junko Habu, Kenichi Kobayashi, and Marco Madella. 2016. Summed Probability Distribution of 14C Dates Suggests Regional Divergences in the Popu-

- lation Dynamics of the Jomon Period in Eastern Japan. *PLoS ONE* 11(4): e0154809. doi:10.1371/journal.pone.0154809.
- Edgeworth, Matt. 2006. Multiple Origins, Development, and Potential of Ethnographies of Archaeology. In *Ethnographies of Archaeological Practice: Cultural Encounter, Material Transformations*. Edgeworth, Matt. ed. 1–19. Oxford: AltaMira Press.
- Ertl, John. 2011. Archaeological Tourism and Japanese Ethnic Landscape. In *Report of The International Symposium : Exploring Ethnicity and The State through Tourism in East Asia*. Kanazawa University Japan-China Intangible Cultural Heritage Project Volume 13. John Ertl, ed. 46–57. Kanazawa: College of Human and Social Sciences, Kanazawa University.
- . 2013. Archaeological Diversity and Jomon Dwelling Reconstructions. In *Ethnography of Archaeology*. Sumio Fujii and John Ertl, eds. 11–28. Kanazawa: Center for Cultural Resource Studies, Kanazawa University.
- . 2015. Traversing the Landscape and Boundaries of Japanese Archaeology: Ethnography of Archaeological Practices at Amenomiya Kofun. In *Reframing Diversity in the Anthropology of Japan*. John Ertl, John Mock, John McCreery, and Gregory Poole, eds. 29–53. Kanazawa: Center for Cultural Resource Studies, Kanazawa University.
- Ertl, John and Paul Hanson. 2015. Introduction: Moving Beyond Multiculturalism as a Framework for Diversity in the Anthropology of Japan. In *Reframing Diversity in the Anthropology of Japan*. John Ertl, John Mock, John McCreery, and Gregory Poole, eds. 1–28. Kanazawa: Center for Cultural Resource Studies, Kanazawa University.
- Ertl, John, John Mock, John McCreery, and Gregory Poole, eds. 2015. *Reframing Diversity in the Anthropology of Japan*. Kanazawa: Center for Cultural Resource Studies, Kanazawa University.
- Fawcett, Clare. 1995. Nationalism and Postwar Japanese Archaeology. In *Nationalism, Politics and the Practice of Archaeology*. Phillip Kohl and Clare Fawcett, eds. 232–246. Cambridge: Cambridge University Press.
- . 1996. The Practice of Archaeology in Japan and Japanese Identity. In *Multicultural Japan: Paleolithic to Postmodern*. Donald Denoon, Mark Hudson, Gavan McCormack, and Tessa Morris-Suzuki, eds. 60–80. Cambridge: Cambridge University Press.
- Fujii, Sumio and John Ertl, eds. 2013. *Ethnography of Archaeology*. Kanazawa: Center for Cultural Resource Studies, Kanazawa University.
- Graburn, Nelson, John Ertl, and Kenji Tierney, eds. 2008. *Multiculturalism in the New Japan: Crossing the Boundaries Within*. New York: Berghahn Books.
- Gupta, Akhil and James Ferguson, eds. 1997a. *Anthropological Locations: Boundaries and Grounds of a Field Science*. Berkeley: University of California Press.
- . 1997b. *Culture, Power, Place: Explorations in Critical Anthropology*. Durham: Duke University Press.
- Habu, Junko. 2004. *Ancient Jomon of Japan*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Habu, Junko and Clare Fawcett. 1999. Jomon Archaeology and Representation of Japanese Origins. *Antiquity* 73: 587–593.
- Habu, Junko and Clare Fawcett. 2008. Science or Narratives? Multiple Interpretations of the Sannai Maruyama Site, Japan, In *Evaluating Multiple Narratives: Beyond Nationalist,*

- Colonialist, Imperialist Archaeologies*. Junko Habu, Clare Fawcett, and John M. Matsunaga eds. 91–117. New York: Springer.
- Hanihara, Kazuro. 1991. Dual Structure Model for the Population History of the Japanese. *Japan Review* 2: 1–33.
- Hicks, Dan. 2003. Archaeology Unfolding: Diversity and the Loss of Isolation. *Oxford Journal of Archaeology* 22(3): 315–329.
- Hodder, Ian. 1982. *Symbols in Action: Ethnoarchaeological Studies of Material Culture*. Cambridge: Cambridge University Press.
- . 1999. *The Archaeological Process*. Oxford: Blackwell.
- Hommels, Anique. 2005. *Unbuilding Cities: Obduracy in Urban Sociotechnical Change*. Boston: The MIT Press.
- Hughes, Thomas. 1994. Technological Momentum. In *Does Technology Drive History? The Dilemma of Technological Determinism*. Merritt Roe Smith and Leo Marx, eds. 101–113. Cambridge: The MIT Press.
- Ikawa-Smith, Fumiko. 1982. Co-traditions in Japanese Archaeology. *World Archaeology* 13: 296–309.
- . 1999. Construction of National Identity and Origins in East Asia: A Comparative Perspectives. *Antiquity* 73: 626–629.
- Imamura Keiji. 1996. *Prehistoric Japan: New Perspective on Insular East Asia*. Honolulu: University of Hawaii Press.
- James, Simon. 1999. Imag(in)ing the Past: The Politics and Practicalities of Reconstructions in the Museum Gallery. In *Making Early Histories in Museums*. Nick Merriman, ed. 117–135. London: Leicester University Press.
- Kaner, Simon. 1996. Beyond Ethnicity and Emergence in Japanese. In *Multicultural Japan: Paleolithic to Postmodern*. Donald Denoon, Mark Hudson, Gavan McCormack, and Tessa Morris-Suzuki, eds. 46–59. Cambridge: Cambridge University Press.
- Kaner, Simon. ed. 2009. *The Power of DOGU: Ceramic Figures from Ancient Japan*. London: The British Museum Press.
- Kohl, Philip L. 1988. Nationalism and Archaeology: On the Constructions of Nations and the Reconstructions of the Remote Past. *Annual Review of Anthropology* 27: 223–246.
- Lamont, Michèle and Virág Molnár. 2002. The Study of Boundaries in the Social Sciences. *Annual Review of Sociology* 28: 167–195.
- Latour, Bruno. 1987. *Science In Action: How to Follow Scientists and Engineers Through Society*. Cambridge: Harvard University Press.
- Malaforius, Lambros. 2013. *How Things Shape the Mind: A Theory of Material Engagement*. Boston: The MIT Press.
- Merriman, Nick. ed. 2004. *Public Archaeology*. London: Routledge.
- Merriman, Nick. 2004. Introduction: Diversity and Dissonance in Public Archaeology. In *Public Archaeology*. Nick Merriman, ed. 1–17. London: Routledge.
- Mizoguchi, Koji. 2003. *An Archaeological History of Japan: 30,000 b.c. to a.d. 700*. Philadelphia: University of Pennsylvania Press.
- . 2006. *Archaeology, Society and Identity in Modern Japan*. Cambridge: Cambridge University Press.

- . 2013. *Archaeology of Japan: From the Earliest Rice Farming Villages to the Rise of the State*. Cambridge: Cambridge University Press.
- . 2015. A Future of Archaeology. *Antiquity* 89: 12–22.
- Ogasawara, Yoshihiko. 2004. The Society of Archaeological Studies and Contemporary Issues. In *Cultural Diversity and the Archaeology of the 21st Century*. The Society of Archaeological Studies, ed. 209–215. Okayama: Kokogaku Kenkyu Kai.
- Okamura, Katsuyuki. 2011. From Object-Centered to People-Focused: Exploring a Gap Between Archaeologists and the Public in Contemporary Japan. In *New Perspectives in Global Public Archaeology*. Katsuyuki Okamura and Akira Matsuda, eds. 77–86. New York: Springer.
- Okamura, Katsuyuki and Akira Matsuda, eds. 2011. *New Perspectives in Global Public Archaeology*. New York: Springer.
- Renfrew, Colin and Paul Bahn, eds. 2005. *Archaeology: The Key Concept*. Oxon: Routledge.
- Shanks, Michael and Christopher Tilley. 1992. *Re-constructing Archaeology: Theory and Practice*. London: Routledge.
- Stirling, Andy. 2007. A General Framework for Analysing Diversity in Science, Technology and Society. *Interface* 4: 707–719.
- Trigger, Bruce. 1984. Alternative Archaeologies: Nationalist, Colonialist, Imperialist. *Man* 19(3): 355–370.
- . 1989. *A History of Archaeological Thought*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Yoshida, Yasuyuki and John Ertl. 2017 (in press). Archaeological Practice and Social Movements: Ethnography of Jomon Archaeology and the Public. *Journal of the International Center for Cultural Resource Studies* 2
- Zorzin, Nicolas. 2013. The Political Economy of Japanese Archaeology: Reflective Thoughts on Current Organizational Dynamics. *Japanese Journal of Archaeology* 1: 5–21.